

IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS

Tivoli. software



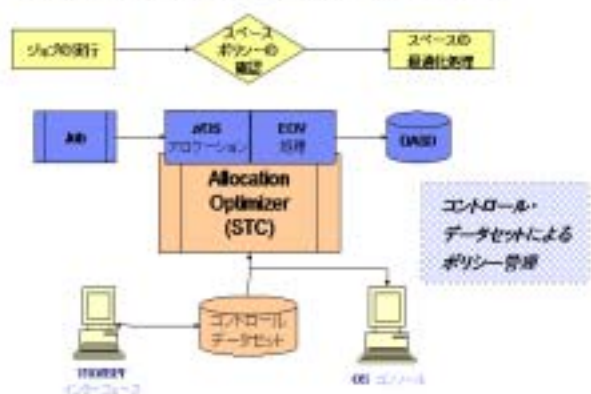
IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS が、ストレージ管理のためにオートノミック・コンピューティングを展開する製品ファミリーに加わりました。オートノミック・コンピューティングは、z/OS プラットフォーム上の新しいレベルの自動自己修復および自己最適化ストレージ管理ソフトウェアによって、システムおよびアプリケーションの可用性を向上させます。

IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS は、スペースの不足が発生したときに z/OS アプリケーションによる事前自己修復を可能にすることにより、可用性向上を支援します。さらに、IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS は、割り振り要求を自動的に最適化してリソースの使用を効率化します。

ハイライト:

- IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS は、スペース不足状態を事前に検出し、アプリケーション障害が発生する前にその状態を解決します。
- スペース不足状態に関連する処理の遅延や中断を緩和または防止することで可用性と生産性を向上させます。

IBM Tivoli Allocation Optimizer for z/OS のシステム構成と仕組み



全社的なメリット:

- ビジネス・エグゼクティブ – 重要なビジネス・データの可用性が向上します。
- IT エグゼクティブ – サービス・レベル契約 (SLA) の適合性が向上します。
- システム・プログラマー – 標準的な SMP/E パッケージの使用により導入が容易になります。
- 運用管理担当者 – 再起動/再実行を必要とする作業を最小限に抑えることにより、運用作業計画の完了に多くの時間を割り当てられます。
- すべてのメインフレーム・ユーザー – スペース関連の障害の解決にかかる時間を短縮することで生産性を向上させます。

お客様メリット:

- DASD スペース割り振りが不十分だったり、DASD エクステントが使用できないといったストレージ管理問題を発生させる B37、D37、および E37 の異常終了など、X37 タイプの異常終了を回避あるいはリカバリーできます。
- ディスク・スペース不足が原因で発生する **JOB FAILED JCL** 障害を回避できます。

バージョン 1.2 の新機能

- VSAM データ・セットのサポート
- DIRECTORY FULL 状態の発生時に区分データ・セット内でディレクトリー・スペースを動的に追加する機能
- カスタマイズ・レポートなど、さまざまな方法を使用して記録、検索、報告可能な重要な履歴情報を保存できる幅広いイベント記録およびレポート・オプション
- 処理に含めたり除外したりする機能を含む、高度な選択基準のサポート:
 - ストレージ・クラス、ストレージ・グループ、データ・クラス、管理クラスなどに基づく SMS 管理データ・セット
 - データ・セットが一時データ・セットかどうかに基づく割り振り
- JCL でのさまざまな指定に基づく割り振りを組み込むかまたは除外する機能を含む、その他高度な選択基準のサポート:
 - ボリューム通し番号 (VOLSER)
 - 後処理
 - 装置名
 - マウント使用法タイプ
 - データ・セット編成サポート (DSORG)

機能、説明、利点		
機能	説明	利点
SMS および 非 SMS 両方のデータ・セットのサポート	SMS データ・セットについては、現在の SMS 機能を強化、拡張します。非 SMS データ・セットについては、スペースの制約から解放される機能を提供します	SMS、非 SMS のどちらのデータ・セットについても処理対象のデータ・セットの範囲を拡大することでスペース関連の異常終了の防止およびリカバリーを行います
割り振りの最適化	DASD リソースを自動的に最適化します	DASD データ・セットのフラグメント化を最小限に抑えます
X37 異常終了のリカバリー、防止、および回避	先行して対応することにより、運用上の障害を防止、回避します	再起動/再実行を必要とする作業を削減し、運用作業計画の完了により多くの時間を割り当てます。これにより、スペース関連の問題の解決にかかる時間を短縮します
柔軟性の高いルール定義	処理に含める項目や処理から除外する項目を指定できます	処理およびエンド・ユーザーのどちらに対しても柔軟です

